



No.79

令和7年10月21日発行

おい町

議会だより

Ohi Town Assembly Official Report

佐分利保育園



令和9年5月に創立100周年！



佐分利保育園の
ホームページは
こちらから



関連記事 P20

Contents



議会だよりの
バックナンバーは
こちらから

特 集	令和6年度決算を認定	2
臨時/定例会議	条例改正・補正予算などを審議	8
活動報告	中央要望/所管事務調査	12
一般質問	「投票所減少による投票率の推移」など5人登壇	14
追 跡	猿用大型捕獲檻の設置について	19

9月3日から4日にかけて予算決算常任委員会で審査を行い、町財政の健全性を確認しました。

特集

審議内容

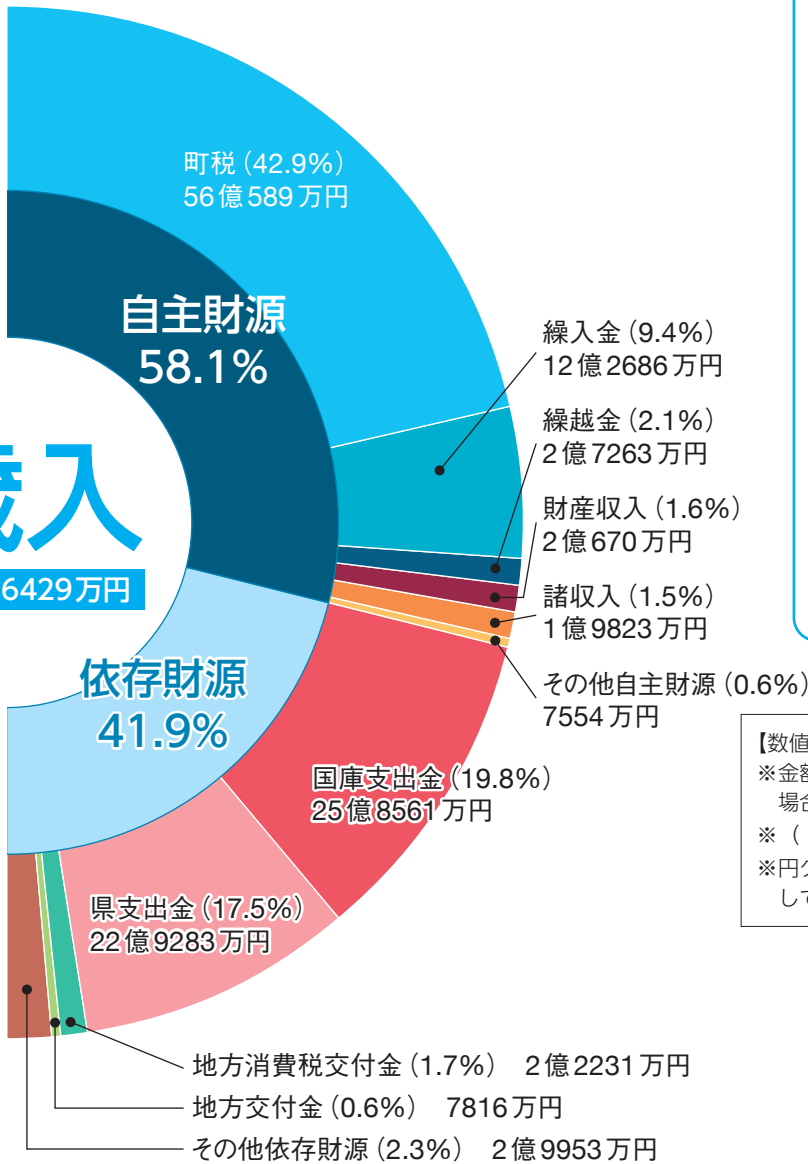
活動報告

一般質問

追跡

歳入 130億6429万円

歳入
130億6429万円



指標

財政力指数 …… 1・10 %
基準となる収入額を支出額で割った数値。過去3年間の平均値を示す。1・00を上回れば財源に余裕があるといえる。

歳入

自主財源 …… 58・1 %
町が自らの権限に基づいて自主的に徴収できる財源
依存財源 …… 41・9 %
国庫の基準等に基づき交付・割当てられる財源

【数値について】

※金額は万円単位で表しているため合計と一致しない場合があります。

※（ ）内は構成比率です。

※円グラフ、表の金額および率は、各項目で四捨五入しているため合計があわない場合があります。

財源のうち主な原発関連収入

(歳入全体の58.6%)

項目	金額
町税	4,706,144千円
国庫支出金	1,689,850千円
県支出金	1,261,748千円
合計	7,657,742千円

特別会計

(単位：万円)

区分	歳入			歳出			純計額 歳入歳出 差引額
	総額	他会計繰入金	純計額	総額	他会計繰出金	純計額	
後期高齢者医療	11,663	2,834	8,829	11,642	0	11,642	△2,813
国民健康保険	87,862	6,025	81,837	87,853	0	87,853	△6,016
国民健康保険診療	9,947	669	9,278	9,947	0	9,947	△669
介護保険	97,352	16,580	80,772	96,464	0	96,464	△15,693
介護サービス	708	351	357	708	0	708	△351
合計	207,532	26,459	181,073	206,614	0	206,614	△25,542

公営企業会計

(単位：万円)

区 分	収 入	支 出	差引額	
簡易水道事業	収益の収支	34,168	31,493	2,675
	資本の収支	20,541	19,003	1,538
下 水 道 事 業	収益の収支	50,630	48,927	1,703
	資本の収支	29,367	29,895	△528

一般会計

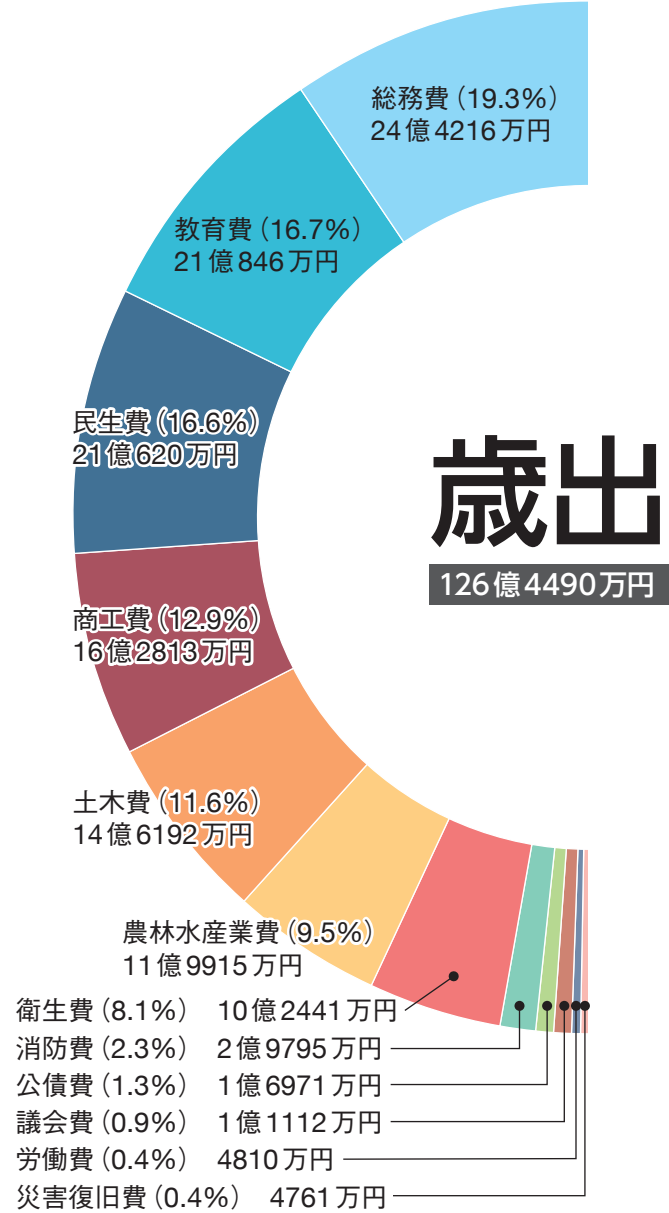
126億円はこう使われた！

町民一人当たりの歳出決算額

(令和7年3月末の人口7,635人で算出)

総務費	31万9864円	
地域振興や一般事務に使うためのお金		
教育費	27万6157円	
学校教育や社会教育などに使うためのお金		
民生費	27万5861円	
各種福祉事業を行うためのお金		
商工費	21万3246円	
観光や商工業の振興に使うためのお金		
土木費	19万1476円	
道路やまちづくりなどに使うためのお金		
農林水産業費	15万7060円	
農業や林業の振興に使うためのお金		
衛生費	13万4173円	
町民の健康管理やごみ処理に使うためのお金		
消防費	3万9024円	
消防施設や消防団運営に使うためのお金		
公債費	2万2228円	
町の負債の元金や利子の返済に使うためのお金		
議会費	1万4554円	
町議会の運営を行うためのお金		
その他	1万2537円	
合計	165万6180円	

歳出 126億4490万円



監査委員から提出された意見書より抜粋

令和6年度決算から見る本町の財政状況は一定の健全性を保っているものの、急速に進む人口減少による税収の減少、公共施設の老朽化に伴う維持管理費の増加、さらには世界的な不安定要因による物価高や円安などが財政の圧迫要因となっています。頻発・激甚化する自然災害や、感染症の再拡大などの突発的な事象に対する備えも不可欠であり、財政面からの柔軟な対応力を確保していくことが求められます。

こうした状況を踏まえ、持続可能な財政基盤を確立するためには、従来から進められている「公共施設等総合管理計画」に基づく計画的かつ総合的なマネジメントを確実に実行し、新た

な財源の確保や国・県の制度を有効に活用するなど、効率性や有効性を十分に考慮した事業運営を行う必要があります。その際には、事業の優先順位を的確に見極め、限られた財源を最大限に生かす工夫が求められます。

簡易水道事業会計については、費用を抑えつつ安定的に経営がなされている一方、料金収入が必要経費を十分に賄っていない現状が課題であり、漏水対策や老朽管の更新など、計画的な維持管理を着実に進めるとともに、収益基盤の安定化が求められます。下水道事業会計については、経常収支の面では健全性が確保されているものの、依然として料金水準と事業コストとの乖離が見られ、一般会計の繰入に依存しない経営体制の確立が重要となります。

のように使われました

●にこにこ赤ちゃん応援事業

553万円

伴走型の相談支援と併せて、妊娠届時と出産届出後に5万円の現金支給等の助成を実施

●子育て世代包括支援センター運営事業

424万6千円

子育て家庭や妊産婦に対し、支援事業の情報提供及び総合的相談支援を実施



●児童手当支給事業

1億3816万6千円

家庭生活の安定と児童の健やかな成長への制度拡充

・支給対象…高校生まで

・額拡充支給月額

3歳未満 第1、2子: 15,000円

第3子: 30,000円

3歳～高校生 第1、2子: 10,000円

第3子: 30,000円

●認定こども園運営委託事業

大 飯 地 区
3認定こども園

3億7102万円

●名田庄こども園運営事業

5335万6千円

●こども家族館管理運営事業

1億3033万2千円

こども家族館は県の施設で、町が指定管理として維持管理費用を負担し運営

●子育て支援医療費助成事業

3162万1千円

子どもの健やかな成長と、保護者の医療費負担の軽減

子育て応援

●進学サポート事業

4183万5千円

就学意欲のある若者の未来を応援するため、国内の大学などに在学する者を扶養する保護者への経済的支援を実施

前期支給:174人 後期支給:175人

●学校ICT教育推進事業

8612万3千円

児童生徒の学びの環境を整備し、学習意欲及び学習理解の向上のための電子黒板の更新

●入学等応援事業

1181万7千円

児童及び生徒の入学、卒業に対して家庭の負担軽減と児童等の健全な育成支援のための給付金

小学校入学時3万円 R6:76人 R7:62人

中学校入学時5万円 R6:77人 R7:71人

中学校卒業時7万円 R6:67人 R7:91人

●町費負担教員配置事業

6125万2千円

児童・生徒の個々にあった、きめ細やかな指導及び気がかりな児童生徒に寄り添い、行き届いた生活・学習支援を実施(14名配置)

問町費負担教員数に対して、町の今後の考え方は

答県へ要望しつつ、町費負担講師の確保も進めながら両にらみで健全な学校運営ができ、子供たちを健やかに育てていけるよう力を尽くしていく

●給食センター事業

1億138万7千円

児童生徒の健康増進・体力向上のため、栄養バランスのとれた給食を提供

給食回数198回/年

特集

審議内容

活動報告

一般質問

追跡

令和6年度 町の予算は主にこ

特集

審議内容

活動報告

一般質問

追跡

●防災対策事業

9018万5千円

- ・防犯監視カメラ2箇所設置
- ・原子力防災では、10月の福井県原子力総合防災訓練で大飯発電所3号機での発災を想定しPAZ/UPZ圏内住民の、兵庫県への広域避難訓練の実施
- ・自主防災組織率48組織(76.2%)
(令和6年度新規設立3組織)
- ・避難所の環境整備のための資材購入
ワンタッチ式パーテーション 293張
簡易ベッド 293台
防災倉庫更新(ふるさと交流センター) 1箇所

問避難所での一番の困りごとはトイレ問題で、トイレバスの整備は出来ないか

答必要性の認識はある、県が試行的に始めたので、課題意識をもって検討していく

●交通対策事業

913万2千円

- ・交通安全教室の開催、交通安全施設等の整備
- ・運転免許自主返納等支援
実績:支援決定者 45人
デマンドバス延べ利用者 4851人
タクシー券利用枚数 628枚



防犯カメラ

安全安心

●排水路管理事業

2277万7千円

快適な住環境整備のため排水路整備工事の実施

●道路維持補修事業

2億2002万7千円

道路交通の安全性と利便性を図るため、適時老朽化している町道路線を補修
トンネル照明設備更新、維持補修、舗装

●漁港施設整備事業

3億7393万2千円

- ・漁港施設の健全性詳細調査の実施
- ・大島河村地区の防波堤整備工事
- ・日角浜船揚場レール改修工事

●林道管理事業

7958万4千円

林道橋の維持補修を行い、林道利用者の安全性を確保するための補修

●河川維持補修事業

2165万円

河川機能の維持および施設の改修を行い、災害の未然防止と被害の軽減を図る

問豪雪時に国の特別交付金の申請が出来るのか

答除雪に係る経費は社会資本整備交付金を充当

●バス対策事業

1億1290万2千円

路線バス運行経費の助成や、大飯・名田庄地域におけるデマンドバスの運行による交通体系の充実

- ・デマンドバス運行委託 5056千円
- ・地方バス路線維持費補助金 5830千円

問自家用有償旅客運送に希望している団体は

答申し出ている事業者は現在のところない

のように使われました

農林水産業

■農業■

●農業活性化支援事業

2789万円

認定農業者や農業法人などの機械設備整備などに対する支援

実績:認定農業者7 農業法人2 営農組合2

●米の品質向上対策事業

2258万2千円

土づくりに対する支援

実績:約401ヘクタール

●有害獣侵入防止柵設置事業

439万3千円

農家が行う猿害ネット柵などの設置に対する支援

実績:猿害等対策資材費補助16件

●多面的機能支払事業

3217万6千円

農地などの維持管理と地域の自然や景観などを守るための地域活動に対する支援

実績:大飯地域20組織 名田庄地域10組織



機械設備整備支援



猿害ネット柵



木材運搬の様子

■林業■

●森林整備地域活動支援交付金事業

900万円

所有者などによる境界確認およびGPS測量により、森林境界情報の保全を実施

実績:201.08ヘクタール 3地区(久保区、父子区、名田庄納田終区)

●町行分収造林事業

2656万9千円

森林整備を行うため、皆伐、木材運搬、素材販売を実施

実績:皆伐5.33ヘクタール 間伐4ヘクタール 名田庄染ヶ谷地係

■水産業■

●藻場造成事業

1502万6千円

成魚の産卵場や稚魚の成育場所となるアマモ場の造成を実施

実績:600ヘクタール

●「お～い★さかな君」発掘・育成事業

50万8千円

新たに漁業従事者となる若者への支援

実績:ふくい水産カレッジ新規入校者1名



藻場造成事業

特集

審議内容

活動報告

一般質問

追跡

令和6年度 町の予算は主にこ

商工観光

● 商工管理事業

4202万5千円

- ・生活応援消費拡大キャンペーン（第2弾）の実施
1人5000円うみりんカードポイント付与

● 観光振興対策事業

1億2358万9千円

- ・地域活性化イベント（大火勢、星のフィエスタ）
うみんぴあフェスタへの補助
スーパー大火勢は30周年特別企画として「野外音楽祭オトノヒ」を実施
- ・町内観光施設共通デジタルサイネージを4台
（赤礁崎オートキャンプ場、情報交差点ぼーたる、
ハッ峰家族旅行村、名田庄あきない館）整備

● 観光2次交通利用促進事業

376万9千円

- ・電動アシスト自転車を若狭本郷駅、若州一滴
文庫にも導入

● うみんぴあ大飯事業

5億2090万3千円

- ・PFI事業契約に基づき、うみんぴあ大飯パー
トナース（株）において、オーシャンリゾートホ
テル&スパうみんぴあの管理運営



しごとみらい産業団地

野外音楽祭オトノヒ



● 企業振興対策事業

7億9789万6千円

- ・しごとみらい産業団地の1区画を（株）TVE
に分譲
- ・誘致パンフレットなどの作成、新聞、雑誌への
広告PRを実施
- ・尾内と名田庄西谷に誘致した植物工場に誘
致補助金、企業立地助成金を支出

● SEE SEA PARK 管理運営事業

9680万8千円

- ・チャレンジショップの管理運営
- ・オープン2周年記念イベントの実施



特集

審議内容

活動報告

一般質問

追跡

令和7年7月臨時会議 議案審議結果

議案番号	件 名	付託・審査	議決結果	参照先
議案第35号	工事請負変更契約の締結について（大飯中学校校舎等改修工事）	〈全協〉	原案可決	P9

令和7年9月定例会議 議案審議結果

議案番号	件 名	付託・審査	議決結果	参照先
報告第11号	令和6年度決算に基づくおい町健全化判断比率の報告について	—	承認	P9
報告第12号	令和6年度決算に基づくおい町資金不足比率の報告について	—	承認	
認定第1号	令和6年度おい町一般会計及び5特別会計歳入歳出決算の認定について	〈予算〉	認定	
議案第36号	令和6年度おい町簡易水道事業会計及びおい町下水道事業会計の決算の認定及び剰余金の処分について		原案可決	
議案第37号	おい町研修交流施設の設置及び管理に関する条例の制定について		原案可決	
議案第38号	おい町議会議員及びおい町長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部改正について		原案可決	P10
議案第39号	おい町職員の育児休業等に関する条例及びおい町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	〈総務〉	原案可決	
議案第40号	おい町町税条例の一部改正について		原案可決	
議案第41号	おい町総合運動公園の設置及び管理に関する条例の一部改正について		原案可決	
議案第42号	おい町流星館の設置及び管理に関する条例の一部改正について	〈産建〉	原案可決	
議案第43号	おい町簡易水道事業等給水条例の一部改正について		原案可決	
議案第44号	おい町特定環境保全公共下水道事業条例及びおい町農業集落排水処理施設等の管理に関する条例の一部改正について	〈予算〉	原案可決	
議案第45号	令和7年度おい町一般会計補正予算（第2号）		原案可決	
議案第46号	令和7年度おい町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）		原案可決	
議案第47号	令和7年度おい町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）		原案可決	
議案第48号	令和7年度おい町国民健康保険診療事業特別会計補正予算（第1号）		原案可決	
議案第49号	令和7年度おい町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）		原案可決	
議案第50号	令和7年度おい町簡易水道事業会計補正予算（第1号）		原案可決	
議案第51号	令和7年度おい町下水道事業会計補正予算（第1号）		原案可決	P11
議案第52号	動産の取得について（公立学校情報機器（児童生徒用タブレット端末））	〈総務〉	原案可決	
議案第53号	損害賠償の額を定めることについて（障がい者福祉システムサーバ賃貸借契約の中途解約）		原案可決	
議案第54号	損害賠償の額を定めることについて（介護保険情報管理システムサービス利用業務契約の一部中途解約）		原案可決	
議案第55号	工事請負契約の締結について（急傾斜地崩壊対策工事（河村（狭間）地区））	〈産建〉	原案可決	
議案第56号	動産の取得について（保健・医療・福祉総合施設 医療情報画像保管システム）	〈総務〉	原案可決	
議案第57号	動産の取得について（総合町民センター外 設置型ベビーケアルーム）		原案可決	
議案第58号	令和7年度おい町一般会計補正予算（第3号）	〈予算〉	原案可決	
議案第59号	令和7年度おい町簡易水道事業会計補正予算（第2号）		原案可決	
議案第60号	工事請負契約の締結について（こどもの遊び場整備工事）	〈総務〉	原案可決	
議案第61号	工事請負契約の締結について（おい町総合運動公園合宿施設（研修棟）建設工事）		原案可決	
議案第62号	工事請負契約の締結について（おい町総合運動公園合宿施設（宿泊棟）建設工事）		原案可決	
請願第3号	パレスチナにおける人道危機への対応を日本政府に求める意見書の提出に関する請願		趣旨採択	
発議第1号	北陸新幹線の早期全線開業を求める意見書について	—	原案可決	
—	議員派遣報告および議員派遣	—	報告および派遣	

賛否が分かれた議案

	寺井	高本	中西	屋敷	田中	堤	細川	原田	辻	尾谷	猿橋啓	今川	猿橋巧
認定第 1号	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	欠	○	●
議案第40号	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	欠	○	●
議案第43号	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	欠	○	●
議案第44号	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	欠	○	●
請願第 3号	●	○	○	●	○	●	○	—	●	●	欠	○	○

○は賛成、●は反対、除は除斥、退は退席、欠は欠席（原田議長は採決に加わらない）

特集

審議内容

活動報告

一般質問

追跡

7月臨時会議
令和7年7月22日

審議内容

7月臨時会議に付議された、議案1件を審査した。

議案審議

工事請負(変更) 契約を可決

議案35号〈全協〉

工事請負変更契約の締結について（大飯中学校校舎等改修工事）

外壁の改修において、補修箇所を増工し、自転車小屋を撤去、プレハブ型の自転車小屋を新設するなどの工事を追加するもの。

- ・変更契約金額 2483万8千円
- ・変更後契約金額 3億7241万6千円
- ・契約の相手方 株式会社時岡組

【全会一致・可決】

9月定例会議
令和7年9月2日～22日

審議内容

9月定例会議に付議された、報告2件、認定1件、議案27件、請願1件、発議1件を審査した。

報告事項を承認

報告事項

報告11号

令和6年度決算に基づくおい町健全化判断比率の報告について

実質赤字比率・連結実質赤字比率・実質公債費比率・将来負担比率は、いずれも早期健全化基準を下回り良好な状態である。

- ・実質公債費比率1・3
- ・その他 算定されず。

報告12号

令和6年度決算に基づくおい町資金不足比率の報告について

【全会一致・承認】

特別会計において資金不足比率は算定されず、いずれも経営健全化基準の20%を下回り良好な状態である。

令和6年度決算の認定及び剰余金の処分を可決

決算認定、議案審議

認定1号〈予算〉

令和6年度おい町一般会計及び5特別会計歳入歳出決算の認定について

一般会計及び5特別会計の決算について、地方自治法第233条第3項の規定に基づき議会の認定を求めるもの。

討論

反対 猿橋 巧 議員

町税において滞納繰越金と人数が増加していることは、税納入の不公平感と収納徴収努力不足が見て取れる。原子力予算

に依存した財政運営は改めるべきであるため反対する。

賛成 中西 秀和 議員

子ども・子育て応援日本一と標榜する子育て世帯への手厚い支援や将来を見据えたインフラの整備などを適切に行っており、財政力指数も前年度よりも増加し、財政が健全であることから賛成する。

※主な事業や質疑内容はP2～P7（特集）に記事有り。

議案36号〈予算〉

令和6年度おい町簡易水道事業会計及びおい町下水道事業会計の決算の認定及び剰余金の処分について

2公営企業会計の決算及び剰余金の処分について、地方公営企業法第4条及び地方公営企業法第32条第2項の規定に基づき議会の認定及び議決を求めるもの。

条例の制定と改正を可決

議案37号〈総務〉

おい町研修交流施設の設置及び管理に関する条例の制定について

教育、スポーツ及び文化を通じた交流人口の拡大を図ることを目的として、成和地係に整備を行う「おい町研修交流施設」の設置及び管理に関する条例を制定するもの。

議案38号〈総務〉

おい町議会議員及びおい町長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部改正について

町村議会議員選挙及び町村長選挙における、選挙運動の公営に要する経費のうち、選挙運動ビラ及び選挙運動用のポスター製作経費の限度額が引き上げられたことに伴

い所要の改正を行うもの。

【全会一致・可決】

●議案39号〈総務〉

おい町職員の育児休業

等に関する条例及びおい

町職員の勤務時間、休

暇等に関する条例の一部

改正について

育児時間の多様化及び

育児にかかる両立支援制

度を利用しやすい勤務環

境の整備に関して所要の

改正を行うもの。

【全会一致・可決】

●議案40号〈総務〉

おい町町税条例の一部

改正について

地方税法及び地方税法

等の一部を改正する法律

が施行されることに伴い、

所要の改正を行うもの。

【賛成多数・可決】

●議案41号〈総務〉

おい町総合運動公園の

設置及び管理に関する条

例の一部改正について

「おい町研修交流

施設」の設置に伴い、小

堀地係にある合宿所「ス

ポーツロッジ栄光」を廃

止するため、所要の改正

を行うもの。

【全会一致・可決】

●議案42号〈産建〉

おい町流星館の設置及

び管理に関する条例の一

部改正について

利用料金

の上限額の

改定及びか

やぶきの家

の廃止に伴

う改正を行

うもの。



主な質疑

問 今回の改正による

運営上の効果は。

答 上限額を引き上げ

ることにより、余

裕を持った料金設定が可

能となることから、サ-

ビスなどにも工夫がで

き、経営の向上に繋げて

いきたい。

【全会一致・可決】



を結ばれているのか。

答 県主体で上下水道

に関する災害時の

協定を締結している。

●議案43号

【全会一致・可決】

●議案43号〈産建〉

おい町簡易水道事業等

給水条例の一部改正につ

いて

●議案44号〈産建〉

おい町特定環境保全公

共下水道事業条例及びお

おい町農業集落排水処理

施設等の管理に関する条

例の一部改正について

大規模災害などにおい

て、給水装置や排水設備

工事を他の市町村の市町

村長が指定した給水、排

水設備工事事業者による

実施を可能とすること及

び手数料の改定などを行

うもの。

主な質疑

問 災害復旧に対応し

た、広域的な協定

を結ばれているのか。

答 県主体で上下水道

に関する災害時の

協定を締結している。

●議案43号

【全会一致・可決】

●議案43号

【全会一致・可決】

●議案43号

●議案43号

●議案43号

●議案43号

●議案43号

●議案43号

●議案43号

●議案43号

●議案43号

●議案43号

●議案43号

●議案43号

●議案43号

●議案43号

●議案43号

●議案43号

●議案43号

●議案43号

●議案43号

●議案43号

補正予算を可決

●議案45号〈予算〉

令和7年度おい町一般

会計補正予算(第2号)

1775万7千円増額

【主な歳出内容】

○放課後児童健全育成

事業

189万3千円増額

○健康増進事業

164万5千円増額

○うみんぴあ大飯事業

1000万円増額

○小学校管理事業

2019万1千円増額

○小学校児童輸送委託

事業

1163万円増額

主な質疑

問 健康増進事業の健

診ウェブ予約シス

テムの導入について、シ

ステムを導入することに

より、どの程度の効果が

あると見込んでいるのか。

答 2割程度の受診

が、ウェブ予約に

移行すると見込んでいる。

【全会一致・可決】

●議案46号〈予算〉

令和7年度おい町後期

高齢者医療事業特別会計

補正予算(第1号)

35万8千円増額

【全会一致・可決】

●議案47号〈予算〉

令和7年度おい町国民

健康保険事業特別会計補

正予算(第1号)

741万8千円増額

【全会一致・可決】

●議案48号〈予算〉

令和7年度おい町国民

健康保険診療事業特別会

計補正予算(第1号)

213万5千円減額

【全会一致・可決】

●議案49号〈予算〉

令和7年度おい町介護

保険事業特別会計補正予

算(第1号)

1191万5千円増額

【全会一致・可決】

●議案50号〈予算〉

令和7年度おい町簡易

水道事業会計補正予算
(第1号)

542万9千円減額

【全会一致・可決】

●議案51号(予算)

令和7年度おい町下水道事業会計補正予算(第1号)

67万9千円減額

【全会一致・可決】

●議案58号(予算)

令和7年度おい町一般会計補正予算(第3号)

596万5千円増額

【全会一致・可決】

●議案59号(予算)

令和7年度おい町簡易水道事業会計補正予算(第2号)

596万5千円増額

大津呂ダムの水位低下に伴う、本郷地区の給水対策事業のために増額するもの。

【全会一致・可決】

動産の取得を可決

●議案52号(総務)

動産の取得について(公立学校情報機器(児童生徒用タブレット端末)GIGAスクール構想に基づき整備を行った小中学生の児童生徒が使用するタブレット端末を更新するもの。

・契約金額
357万4千610円

・契約の相手方
三谷商事株式会社

【全会一致・可決】

●議案56号(総務)

動産の取得について(保健・医療・福祉総合施設医療情報画像保管システム)

保健・医療・福祉総合施設診療所の「医療情報画像システム」を、更新するもの。

・契約金額
218万3千500円

・契約の相手方
株式会社ミタス

【全会一致・可決】

●議案57号(総務)

動産の取得について(総合市民センター外設置型ベビーケアルーム指定避難場所となつて

いる町内4施設に、設置型ベビーケアルームを配置するもの。

・契約金額
120万4千280円

・契約の相手方
株式会社ラボ

【全会一致・可決】

●議案53号(総務)

損害賠償の額を定めることについて(障がい者福祉システムサーバ賃貸借契約の中途解約)

関連システムの契約を解約及び変更する必要が生じたため、違約金の支払いが発生するもの。

【全会一致・可決】

●議案54号(総務)

損害賠償の額を定めることについて(介護保険情報システムサービス利用業務契約の一部中途解約介護保険情報管理システム)

テムのサービス利用業務の一部を変更する必要があるため、契約を一部中途解約するもの。

【全会一致・可決】

工事請負契約を可決

●議案55号(産建)

工事請負契約の締結について(急傾斜地崩壊対策工事河村・狭間地区)

がけ崩れによる災害から、住民の生命を保護するための対策を講じるもの。

・契約金額
595万7千778円

・契約の相手方
株式会社こんどう

【全会一致・可決】

●議案60号(総務)

工事請負契約の締結について(こどもの遊び場整備工事)さきやま会館を改修しこどもの遊び場として改修するもの。

・契約金額
1億630万2千円

・契約の相手方
株式会社こんどう

【全会一致・可決】

●議案61号(総務)

工事請負契約の締結について(おい町総合運動公園合宿施設(研修棟)建設工事)

おい町総合運動公園合宿施設研修棟の建設を行うもの。

・契約金額
7億911万3千463円

・契約の相手方
株式会社荒木

【全会一致・可決】

●議案62号(総務)

工事請負契約の締結について(おい町総合運動公園合宿施設(宿泊棟)建設工事)おい町総合運動公園合宿施設宿泊棟の建設を行うもの。

・契約金額
8億148万8千円

・契約の相手方
株式会社時岡組

【全会一致・可決】

請願を趣旨採択

●請願3号(総務)

パレスチナにおける人道危機への対応を日本政府に求める意見書の提出に関する請願

【賛成多数・趣旨採択】

発議を可決

●発議1号

北陸新幹線の早期全線開業を求める意見書について
令和7年末までの駅位置・詳細ルートの公表および早期の認可・着工を行うとともに、沿線自治体に過度な負担が生じないための配慮など早期全線開通を求める意見書を国会及び関係行政庁に対して提出しようとするもの。

【全会一致・可決】

「町の課題解決に向けて」中央要望を実施

おおい町にはさまざまな課題があります。

特に原子力発電所が立地する町として安全・安心を確保していく必要があります。

期日

■ 8月27・28日

要望者

議長	原田 和美
副議長	堤 満也
総務常任委員長	田中 秀樹
産業建設常任委員長	尾谷 和枝
予算決算常任委員長	辻 徹
原子力発電対策特別委員長	高本 和良
議会運営委員長	細川 正博

要望先

・ 山崎正昭	参議院議員
・ 滝波宏文	参議院議員
・ 稲田朋美	衆議院議員
・ 辻 英之	衆議院議員
・ 波多野翼	衆議院議員

要望内容

一・原子力政策の充実

- ・ 原子力発電所立地の地域振興について
- ・ 電源三法交付金の制度改正について
- ・ 核燃料サイクルの早期確立と国民理解について
- ・ 電力需要と確保への取り組みについて
- ・ 立地地域の実情に応じた経済振興や雇用確保。電源三方交付金を地域の実情に応じて柔軟に活用できるための制度改革。最終処分などのバックエンド問題の解決に向けた国民理解。将来必要な電力量の具体的で正確性のある算定を求めました。

二・原子力制圧・避難と、生命・生活道路網の早期整備

- ・ 原子力災害制圧のための橋梁新設について
- ・ 一般県道岡田深谷線の通行不能区間の早期開通について
- ・ 舞鶴若狭自動車道の4車線化について
- ・ 主要地方道小浜綾部線の早期改良整備促進について
- ・ 建設から50年以上が経過した青戸の大橋に代わる橋梁の建設。岡田深谷線早期開通への財源確保。早期に舞若道4車線化。小浜綾部線の早期完成に向けた財源確保を求めました。

エネルギー庁



内閣府



三・地方自治体の持続可能性への支援策

- ・ 公共交通サービスに係る関係法令の見直しについて
- ・ 医療、福祉、介護体制の充実への支援について
- ・ 鳥獣害対策の充実への支援について
- ・ 大学や行政機能の地方移転について
- ・ 人口減少が進む中、全国の自治体で課題となっている広域公共交通サービスや医療、福祉、介護人材の確保に向けた支援。獣害対策への財源確保や地方の活性化に向けて省庁移転や大学誘致について要請しました。

滝波参議院議員



辻衆議院議員



緊急提言 圃場への水不足対応

今年の夏は大変な猛暑と雨の日が極端に少なく、本郷地域の水釜である大津呂ダムでは貯水率が低下し、生活に必要な水の節水協力が呼びかけられました。

また、7月中旬以降、佐分利地域や本郷地域の農業用水として利用される佐分利川の水量も極端に低下し、水稻に必要な水が確保できない状態となりました。

産業建設常任委員会を緊急開催

7月28日に委員会を開催するため委員を緊急招集。

また、農業を専門とする認定農業者から現状と課題を聞き取るため、参考人として委員会に出席いただきました。

参考人の意見

■現状

- ・高温障害で稲穂の葉の変色が発生している圃場が出ている
- ・ポンプで水をくみ上げたいがその水がない状態
- ・落水するまでまだ日があり、一番水を必要とする時期である

- ・農家仲間からはあきらめの声が聞こえる
- 課題
 - ・とにかく水がないことが一番の課題

これから毎年のようにこのような状況が続く可能性がある

中塚町長に緊急提言

参考人から現状と課題を聞き、委員会で協議をした結果、

佐分利川の各頭首工付近の河床を深く掘削し、浅層を流れる伏流水の活用を提言

町の行動は素早く、翌日から河床掘削やポンプの貸し出しが行われました。その結果、農業用水路に水を送ることができました。



原子力発電対策特別委員会

開催日 令和7年9月10日
開催場所 全員協議会室

わが国の地層処分の事業の現況について

原子力発電環境整備機構（NUMO）より以下のとおり説明がありました。

地層処分とは

- ・「高レベル放射性廃棄物」を人々の生活環境に影響を与えないよう、300m以上の地下に地層処分する。
- ・ガラス固化体（高レベル放射性廃棄物）の発生量は100万キロワットの原子力発電所を1年間運転すると約30本発生する。
- ・40,000本以上のガラス固化体を処分できる施設を計画中。
- ・文献調査を全国で10か所程度を見込み、精密調査を1〜2か所に絞り、最終的に地層処分の適した場所を1か所に絞る。

- ・文献調査は、2020年11月から北海道寿都町と北海道神楽内村の2町村で実施されており、2024年6月には、佐賀県玄海町でも文献調査が開始された。
- ・諸外国（フィンランド・スウェーデン・フランス・アメリカ）では、処分地の選定が終了している。

乾式貯蔵施設設置計画に関する取り組み等について

関西電力(株)より以下のとおり説明がありました。

- ・使用済燃料対策ロードマップの実行状況についての説明があり、六ヶ所再処理工場の竣工目標実現に向けた進捗状況は概ね順調であること。
- ・フランスへ使用済燃料を輸送する輸送容器の製作を開始していること。

乾式貯蔵施設設置計画に関する取り組み

- ・2035年末までに県外の間貯蔵施設に搬出すること。
- ・中間貯蔵施設は2030年ごろに操業開始すること。
- ・搬出開始できない場合は、乾式貯蔵施設の使用済燃料を発電所のプールに戻すこと。

委員からは、プールに戻すことについて、反対の意見が出ました。

立地地域の振興や問題解決に向けた取り組み

- ・福井県・立地町における地域振興のための信託を設定し、2025年度から当面の間、毎年度、資金を拠出すること。

委員からは立地町以外に寄付ができないようにすることの要請がありました。

特集

審議内容

活動報告

一般質問

追跡

町政二こが聞きたい！

9月定例会議では、5人の議員
が一般質問を行いました。

選挙投票所減少による投票率の推移は

総務課長

県内の自治体で最も高い投票率だった

たなか ひでき
田中 秀樹

問 水曜日から金曜日の3日間期日前投票の無料送迎バスを運行したが、その活用状況は。

答 (総務課長) 大飯地域、名田庄地域、共に1名の乗車だった。

問 町内19箇所投票所を6箇所に再編した、最初の参議院選挙の投票率はどのように推移したのか。

答 (総務課長) 当町の投票率は、70.79%と県平均の60.80%を大きく上回り、県内の自治体で最も高い投票率だった。3年前の参議院議員通常選挙や、直近の国政選挙の衆議院議員総選挙と比較しても、およそ2〜3ポイント上回った結果となった。

問 バス利用の最大の問題点は、自宅からバス乗り場まで距離のある方は歩行が困難で利用することができない。交通弱者対応や土日を含めた投票所までの交通の確保が課題と感じる。今後どのような方策を検討するか。

答 (総務課長) 限られた人的・社会的資源などを踏まえ、有権者にとって投票しやすい

環境づくりに向け、引き続き検討する。

消防団の再編計画と定員について

問 現時点での、おい消防団の再編計画や消防団員の定数は。

答 (町長) おおい消防団・若狭消防組合・本町の三者により、再編の検討を進めている。分団数の整理統合に



よる定員の適正化や、出場体制の再構築などについて議論を重ねている。

問 春先の大船渡市で発生した林野火災は、人命も奪い住居も焼き払う状況で、当町住民の恐怖感は払しょくされていない。この林野火災に何人の方が出動されたのか。また、当町において再編後のマンパワーに不足は生じないのか。

答 (防災安全課長) 各都道府県から延べ2万5千800人が派遣され、自衛隊や警察、近隣のヘリコプターによる消火活動が行われた。定数削減があった場合でも、著しいマンパワー不足には陥らないと見込んでいる。



県防災航空隊、若狭消防連携訓練

問 大規模な林野火災となれば自衛隊へ県知事からの要請や町長からの直接通知も必要となる。

「林野火災注意報」の発令について消防庁から発出されたが、町長からはどのような仕組みで発令されるのか。

答 (防災安全課長) 林野火災の予防上注意が必要な気象状況となった際、周辺住民に火の使用制限の努力義務を課す「林野火災注意報」が新たに制度化された。

この注意報や警報については、気象台や県からの情報を受けた市町村長が発令を行うこととなるが、その具体的な手続きなどについては、若狭消防組合と管内市町で協議のうえ具体化するとともに、若狭消防組合火災予防条例を一部改正（令和7年12月を予定）し、住

民周知を図っていく。

身体能力維持用の運動器具の設置

問 自立歩行能力の低下を防ぐための身体能力維持用の運動器具を、なごみ診療所や名田庄診療所隣接の施設に設置する考えはないか。

答 (いきいき福祉課長) 高齢者の自立歩行能力の低下を防ぐ有効な手段の一つであることから、実現に向けて取り組む。



特集

審議内容

活動報告

一般質問

追跡

今夏の水不足の状況と対応は

副町長

ダム貯水量が低下し、地下水源を増量農作物被害は、水稲で約12分の一部で被害申告あり



寺井 義孝

問 今夏の水不足の状況と町の対応策及び、特に水稲の被害状況は。



大津呂ダム

答 (副町長) 上水道の状況は、大津呂ダムの貯水率低下を受け、一日の必要配水量のうち、ダムからの取水量を4割減らし、地下水の取水量を4割増やして全体的な水量を確保している。他の河川水及び地下水を

水源としている箇所においては、必要な水量は確保されている。水稲への渇水対策として、佐分利川で仮設ポンプを6箇所設置するなど、農業用水の確保に努めた。

水稲の被害状況は、確定値ではないが、約12分の一部で被害申告があった。



問 渇水に対する、国・県からの支援は。

答 (農林水産課長) 今回の渇水に対し、国・県の支援があり、今後、農家組合などの関係団体に聞き取りを行う予定。

避難道路の整備状況は



問 原子力災害時の避難道路の整備状況は。

答 (町長) 舞鶴若狭自動車道の4車線

化工事のうち、大飯高浜インターから小浜西インター間は、令和6年度に着工され、約6年から7年の工期が予定されている。小浜綾部線の工事は、盛土工事が進められている。現時点で完成時期は示せないが、防災道路として重要な路線である。

り、早期完成に向けて、関係機関へ要望していく。



小浜綾部線盛土工事

問 避難道路の多重化として、県道岡田深谷線の工事進捗と完成時期は。

答 (建設課長) 令和3年度から事業化され、測量や調査業務が実施されている。ルートが決まり次第、用地買収や詳細設計を進めて行くが、完成時期は示せない。



問 新たな「青戸の大橋」の建設は。

答 (建設課長) 町としては防災機能強化の観点から必要不可

欠としている

るが、県の方針は、現「青戸の大橋」から現道を利用するルートと高浜町和田から新大島トンネルを利用するルートにより避難時など多重化されているとの認識であり、整備に向けてはハードルが高い状況にある。



問 「青戸の大橋」の歩道幅は75センチであるが、橋梁整備時の基準は。

答 (建設課長) 車椅子が2台通れる程度の2メートルとなっている。

旧式の鉄管の更新は

問 上水道の旧式鉄管の更新計画は。

答 (上下水道課長) 令和8年度にかけ

て実施している「簡易水道アセットマネジメント計画」の中で、更新計画を策定していく。

廃船処理に対する補助政策は

問 二年前の同僚議員の質問に対する回答で、廃船処理に対する補助について、関係機関と検討するとなっていたが、その後の経緯は。

答 (農林水産課長) 船舶を廃船にするのは、所有者の責任において適正に行うことが原則である。一方で、一次産業支援の在り方を検討するにあたり、大島漁協と廃船処理に対する支援も含めて協議した結果、令和7年度から進めている「漁家経営構造改善事業」では、省エネ型の設備導入への支援を最優先に進めて行くとの結論に至った。

運転免許証返納支援事業の更なる充実

副町長 当該事業に限らず、幅広く高齢者の支援施策を検討する



つみ みつや
堤 満也

ルサイネージなどの情報発信により、地元産品の販売促進や周遊観光のPRを行い、地域経済の活性化につなげたい。

問 運転免許証返納支援事業の更なる充実

実は。

答 (副町長) 公平性の観点から新たな支援制度は考えていないが、高齢者の福祉施策について、幅広い観点で支援策を検討する。

道の駅

問 町内2箇所ある「道の駅」の今後の経営や施設整備方針は。

答 (商工観光課長) 各々の事業計画により運営するが、デジタ



道の駅うみんぴあ大飯

問 道の駅名田庄では物販スペースが狭く、地元農産物が屋外で販売され、品質が保持されない状況のため、隣の休憩所スペースを一部使用することはできないか。

答 (商工観光課長) 道の駅名田庄を国の進める防災機能を持った道の駅として再整備してはどうか。

問 「防災道の駅」として選定し、広域防災拠点としての支援を行う制度のほか各省にも補助メニューがあるので、国や



道の駅名田庄

答 (商工観光課長) 県管理の休憩施設であり、目的外使用となるため認められていない。

問 放課後等デイサービスについて、町内における対象児童数や町外利用の実態は。

答 (いきいき福祉課長) 対象の方は17名で、当町と小浜市、高浜町で構成する「若狭地区障がい児・者自立支援協議会」において状況把握し広域で取り組んでいる。

問 事業所が少ないため利用希望回数を調整していると聞くが、どうか。

答 (いきいき福祉課長) 現在は、町に対して利用回数の調整を求めているような報告はない。

問 町内に身近に利用できる事業所が必

答 (いきいき福祉課長) 要と考えるが、今後の事業所設置や事業者支援に

問 障がい児福祉サービス

答 (いきいき福祉課長) 今後も広域で取り組むが、事業所の抱える人材育成などさまざまな課題について支援を進める。

問 「第2次おい町総合計画」*が来年度に期間満了を迎えるが、現行計画の成果と課題をどう評価しているのか。

答 (町長) 子育て支援や教育環境の充実により、合計特殊出生率は県内でも最も高く、全国では25位となった。また、各種の施策の推進により、人口減少を一定程度抑制することができた。産業振興として雇用確保に努め「しごとみらい産業団地」に、第1号となる企業の進出が決定し

県と相談しながら対応したい。

障がい児福祉サービス

問 放課後等デイサービスについて、町内における対象児童数や町外利用の実態は。

答 (いきいき福祉課長) 対象の方は17名で、当町と小浜市、高浜町で構成する「若狭地区障がい児・者自立支援協議会」において状況把握し広域で取り組んでいる。

問 事業所が少ないため利用希望回数を調整していると聞くが、どうか。

答 (いきいき福祉課長) 現在は、町に対して利用回数の調整を求めているような報告はない。

問 町内に身近に利用できる事業所が必

答 (いきいき福祉課長) 要と考えるが、今後の事業所設置や事業者支援に

問 障がい児福祉サービス

答 (いきいき福祉課長) 今後も広域で取り組むが、事業所の抱える人材育成などさまざまな課題について支援を進める。

問 「第2次おい町総合計画」*が来年度に期間満了を迎えるが、現行計画の成果と課題をどう評価しているのか。

答 (町長) 子育て支援や教育環境の充実により、合計特殊出生率は県内でも最も高く、全国では25位となった。また、各種の施策の推進により、人口減少を一定程度抑制することができた。産業振興として雇用確保に努め「しごとみらい産業団地」に、第1号となる企業の進出が決定し

についてどう考えているのか。

た。防災・安全・安心の分野においても、一定の前進が見られた。課題は、東京一極集中により都市との生活基盤の格差が拡大し、人口減少への対策は待ったなしの状況であり、町の持続と繁栄に向け挑戦し続けなくてはならないと考える。

答 (いきいき福祉課長) 今後も広域で取り組むが、事業所の抱える人材育成などさまざまな課題について支援を進める。

問 「第2次おい町総合計画」*が来年度に期間満了を迎えるが、現行計画の成果と課題をどう評価しているのか。

答 (町長) 子育て支援や教育環境の充実により、合計特殊出生率は県内でも最も高く、全国では25位となった。また、各種の施策の推進により、人口減少を一定程度抑制することができた。産業振興として雇用確保に努め「しごとみらい産業団地」に、第1号となる企業の進出が決定し

問 障がい児福祉サービス

答 (いきいき福祉課長) 今後も広域で取り組むが、事業所の抱える人材育成などさまざまな課題について支援を進める。

問 「第2次おい町総合計画」*が来年度に期間満了を迎えるが、現行計画の成果と課題をどう評価しているのか。

答 (町長) 子育て支援や教育環境の充実により、合計特殊出生率は県内でも最も高く、全国では25位となった。また、各種の施策の推進により、人口減少を一定程度抑制することができた。産業振興として雇用確保に努め「しごとみらい産業団地」に、第1号となる企業の進出が決定し

問 障がい児福祉サービス

答 (いきいき福祉課長) 今後も広域で取り組むが、事業所の抱える人材育成などさまざまな課題について支援を進める。

問 「第2次おい町総合計画」*が来年度に期間満了を迎えるが、現行計画の成果と課題をどう評価しているのか。

答 (町長) 子育て支援や教育環境の充実により、合計特殊出生率は県内でも最も高く、全国では25位となった。また、各種の施策の推進により、人口減少を一定程度抑制することができた。産業振興として雇用確保に努め「しごとみらい産業団地」に、第1号となる企業の進出が決定し

についてどう考えているのか。



※第2次おい町総合計画

町の課題に住民と行政が協働し、より良いおい町を目指す、10年後における町の将来像を明らかにするため、まちづくりの基本理念を示した「基本構想」と総合的かつ計画的な「基本計画」で構成されている。計画期間は2017(2027)

立地町から原子力政策・建て替えの方針は

町長 大飯1・2号機の廃炉で町内の経済が半減している。より高い安全性を確保するためにも、事業者と国の議論を注視する



おだに かずえ
尾谷 和枝

問 原子力政策で、脱炭素効果の高い電源の最大限活用と、廃炉建て替え方針が示されたが。

答 **（町長）** 第7次エネルギー基本計画では、現実的で明確な原子力エネルギー政策が示されたと受け止めている。半世紀にわたり国策に協力してきた立地町の、リスクと背中合わせに生活する住民の安全安心の確保を最優先のうえ、確実に遂行されるよ

う、国・事業者等関係機関に、強力に発信や要請などを行っていく。

問 美浜発電所の革新軽水炉の地質調査が発表された。他所も同時並行的に調査の必要があるのでは。

答 **（町長）** 大飯発電所も1・2号が計画的ではない廃炉に至っている。検討や発言は理解しているが、必要ならば、施設容量やロードマップを明確に示し、国が前面に立って発信するべきで、事業者、国の議論を注視していく。

県内原発立地地域の将来像を議論する共創会議について

問 共創会議において、避難道5路線が事業明記された。既に事業化されている県道でなく、ハードルの高い事業を載せては。

答 **（町長）** 町として多重化が必要で、且つアクセス道路としての位置づけも大きい2路線を進めていただく必要がある。県道小浜綾部線・県道岡田深谷線の未改良区間などの工事は加速化すると期待している。

第2青戸の大橋は、ハードルは高いが、タイミング

グを見極めしっかりと申し上げていく。

問 事業者からの新たな寄付の仕組みが公表されたことについての所感。

答 **（町長）** 立地地域の振興や課題解決に向けた取り組みに対して、継続的に寄付が行われることは、原子力基本法に定められている事業者の責務を果たしていた点において評価できる。



共創会議の様子

問 寄付の用途は、共創会議が主だが、

立地市町以外への目的外使用とされないか。

答 **（町長）** 寄付は立地市町の振興・課題解決に向け使用するものと認識しており、他に流用されることはあつてはならない。

人口ビジョン・未来創生戦略について

問 子ども・子育て応援日本一を標榜してきた効果と、今後の方針。

答 **（町長）** 当初の合計特殊出生率は1・91で、全国25位で前回の49位から順位を上げた。若年女性人口減少率も10ポイント改善し、消滅可能性自治体からの脱却を果たした。

これは、「子ども・子育て応援日本一」を目標に掲げ、結婚から妊娠、出産、大学卒業までの、子育て全世代の切れ目の

ない支援、移住定住支援や小中学校の学習環境整備など、多角的に実施し「子育てしやすい町」として実感や認識が深まり数字として表れたと認識している。

国においては、人口減少や東京圏の一極集中など、国全体で戦略的に地域間格差のない社会にすることが最優先されるべき。

町としては、3月に策定した第3次おおい町未来創生戦略やDXを推進し、都市との格差是正や一次産業を中心とした産業の成長化につなげていく。



大飯発電所における飛行物体への対応は

町長 対応の強化について要請した



さるはし 猿橋 たくみ 巧

問 大飯発電所における飛行物体への対応は。

答 (町長) 本年7月26日にドローンとみられる3つの光る物体が玄海発電所の敷地内に侵入した。本町においても、今回のような事案に対する更なる対応の強化について速やかに事業者や原子力規制庁と情報共有を図るとともに、関西電力森社長に、直接、確認と要請を行った。

問 原子力災害指針の改定で、屋内退避

の運用が見直された。当町の耐震診断・補強工事は進んでいるのか。

答 (建設課長) 現時点での本町の耐震化率は66.5%と、まだ対策がなされていない住宅も多いが、その多くは高齢の方が所有する住宅や空き家と推察されるところに、耐震改修に係る費用負担などの理由から、なかなか進まないのが現状である。

選挙公報・投票のあり方

問 選挙ポスター掲示板と投票所削減に伴う選挙権の行使のための環境づくりは。

答 (総務課長) 投票所の再編にあたり、有権者の中には投票所が遠方となる方やこれまでからご不便をかけている状況を踏まえ、期日前投票期間の最終週に送迎バスを運行したほか、一部の投票所では、スリッパの履き替えをせずに投票できるような環境づくりに努めた。広報についてもチラシの全戸配布、広報紙、ホームページ、有線放送などのさまざまな媒体を組み合わせて有権者の皆様にお知らせをした。

会計年度任用職員制度の検討が必要では

問 会計年度任用職員の比率の現状は。

答 (副町長) 令和7年4月1日現在で173人と計画の178人に満たない人員となっている。

職員全体に占める会計年度任用職員の割合は、令和7年4月1日現在で43.3%となっており、令和2年4月1日現在の42.1%と比べ、1.2ポイント増加している状況にある。

問 正職員比率を上げることが必要では。

答 (副町長) 将来的な人員構成や財政状況、業務の継続性などを総合的に勘案しながら、中長期的な視点で慎重に検討していく必要がある。

水不足への今後の対応は

問 ダム・水源地下水量は十分だったのか。

答 (上下水道課長) 本郷地区の簡易水道対策として大津呂ダムからの取水量を1日当たり約1000m³から約500m³に減らすとともに、岡田地下水源からの取水量を1日当たり約500m³から約1000m³に増やすことで全体としての水量を確保している。

問 今後も異常気象が毎年続くと予想さ



おおい町役場

れるが、新たな水源と汲み上げポンプや貯水タンクの建設が必要では。

答 (上下水道課長) 新たな水源については、岡田地係の2箇所、適正水量は1日当たり約505m³また、大津呂浄水場内の3箇所の水源で520m³の合計1,025m³の水源について今後、利用が可能かどうか検討していく。また、新たな貯水タンクは、地下水源の検討をはじめ、複合的な対策を考える必要があり、現時点では、建設する考えはない。



大津呂ダム



あれからどうなったの？

追跡！ 一般質問の行方

議会だよりでは、定例会議での一般質問の要旨を掲載しています。議員からの提案などがどのように町政に反映されたかを、追跡調査してみました。



猿用大型捕獲檻を各地域に設置すべきでは

猿用大型檻の設置により猿の被害が減少し、効果があることから町内各地区に設置してはどうか。
(令和6年12月 堤 満也 議員)

農林水産課長答弁

地区からの設置要請があれば対応したい

それぞれの地区内で設置場所の確保や日常監視体制などの協議が整えば町として対応したい。

どうなった？

名田庄三重区の下三重集落に設置されることになった

集落内で、設置場所や日常監視体制の協議が整い集落要請により設置されることになりました。



設置予定の捕獲檻

有害鳥獣 対応状況

有害鳥獣による農作物被害が増大し、農業経営に深刻な影響を及ぼしていることや高齢者の楽しみを奪うなど、さまざまな悪影響があり、その対策の充実が求められています。

- おおい町議会では国へさまざまな要望活動を行っています。鳥獣被害対策の効果的な対策の強化や充分な財源の確保について昨年度に引き続き要請をしました。
- 町の対策として山際の侵入防止柵設置や維持、耕作者への侵入防止柵設置助成、追い払い活動の支援、被害対策実施隊の設置による駆除がありますが、充分とは言えません。
- 名田庄三重区が猿用大型捕獲檻の設置を区内の各集落に呼びかけたところ、同区の下三重集落において協議が整い、設置することになり、本年秋頃に設置される予定です。
- 今後も各地域住民が主体となった獣害被害対策とあわせて、さまざまな施策による獣害対策の充実を進めなければなりません。



設置予定箇所【名田庄三重区】

特集

審議内容

活動報告

一般質問

追跡

輝^{かがや}子^こども^{ども}たち

佐分利保育園

5 歳児 さん

今回は佐分利保育園の
5 歳児さんたちです。

はじめに 園の紹介

Q 教育や保育の

目標を教えてください。

A 「強い子、元気な子」とし
て、サッカー教室やマット教室、
水泳指導で健やかな体づくりに力
を入れており、英会話や習字、幼
児画指導にも力を入れ、子供たち
の可能性を伸ばしたいです。



いくぞー！

えい！

バランス
むずかしいな



きもちい～ゆ

う～ん
あがれ～

Q 独自の取り組みなどはない
ですか。

A 地域の方々や保護者会、保
護者会歴代会長や卒園した小学
生と協力してさまざまな取り組
みを行っています。

Q 小学生との取り

組みを教えてください。

A 卒園した小学生たちと夏の
キャンプをしています。それ以外
でも保育園によく遊びに来てく
れにぎやかです。



じょうずに
かけたよ

よいしょ～！

それベッたん
ベッたん
つぎはボクの
ばんだ



えいご
たのしいな～

もちつき大会

つぎはなんだっけ？

夜店祭り

いろんなおみせが
あるな～
なにかあそぶか
まよっちゃうよ

夏のキャンプ
サイコー！
保育園時代を
思い出すよ

おにいちゃん
おねえちゃん
といっしょ
たのしいな～

小学生と夏のキャンプ

Q 運営面で困ったことや工
夫していることがあれば教え
てください。

A 保育士さんのなり手不足
で先生の確保に苦労すること
があります。

工夫している点は、子ども
たちが快適に過ごせるよう空
調機器などはこまめにメンテ
ナンスしています。また、職
場内で話しやすい環境づくりに
努めています。

取材に行った日は大飯地域の合同運
動会前で忙しい中、先生には快く対応
していただきありがとうございました。
佐分利保育園独自の保育に感銘を受
けました。
次回は本郷こども園の紹介をしたい
と思います。

おおい町議会では、本会議をはじめ議員全員協議会や各委員会も公開しています。

次回の定例会議は12月です。傍聴について詳しくは議会事務局（77-4060）までお問い合わせください。

12月
定例会議の
予定

会 期：12月2日から12月19日まで（18日間）

本会議：12月2日（議案提案理由説明）、12月12日（一般質問）、12月19日（採決）

委員会：予算決算常任委員会（12月2日）

総務・産業建設常任委員会（12月3日）

台湾友好交流促進・原子力発電対策特別委員会（12月5日）

編集後記

残暑厳しい日が続きますが、
町民の皆様はいかがお過ごしで
しょうか。暑さ寒さも彼岸まで
と申しますが、地球温暖化の影
響により現実と合わなくなつて
います。

今年の夏は、猛暑が続き、雨
の降らない日が多く、節水や農
作物の生育など日常生活にも影
響がでました。

今号の特集は、町の決算報告
です。できるだけ分かりやすく
ポイントを絞っています。町のお
金がどのように使われている
のか参考になれば幸いです。

広報委員会では、広報紙の研
修やクリニックにより皆様に分
かりやすく読みやすい議会だ
より目指して取り組んでいきま
すので今後ともよろしく願
いいたします。

（中西 記）

● 広報特別委員会

委員長 細川 正博

副委員長 中西 秀和

委員 堤 満也

委員 田中 秀樹

委員 高本 和良

委員 寺井 義孝

書記 山口 将史